【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第３部門第２区分
【発行日】平成19年6月28日(2007.6.28)

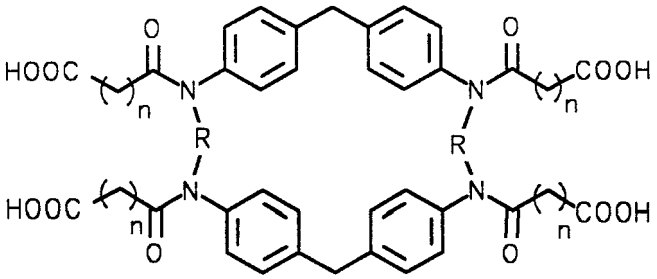
【公表番号】特表2003-507335(P2003-507335A)
【公表日】平成15年2月25日(2003.2.25)
【出願番号】特願2001-516547(P2001-516547)
【国際特許分類】
Ａ６１Ｋ　45/00　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　31/14　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　31/335　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　31/395　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　31/4741　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　31/58　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　31/715　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　31/724　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　45/06　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　21/02　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　25/00　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　25/30　(2006.01)
【ＦＩ】
Ａ６１Ｋ　45/00
Ａ６１Ｋ　31/14
Ａ６１Ｋ　31/335
Ａ６１Ｋ　31/395
Ａ６１Ｋ　31/4741
Ａ６１Ｋ　31/58
Ａ６１Ｋ　31/715
Ａ６１Ｋ　31/724
Ａ６１Ｋ　45/06
Ａ６１Ｐ　21/02
Ａ６１Ｐ　25/00
Ａ６１Ｐ　25/30

【手続補正書】
【提出日】平成19年4月24日(2007.4.24)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】特許請求の範囲
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】　臨床的に用いられる神経筋遮断薬に起因する神経筋遮断を回復させる薬剤を調製するための化学的キレート化剤の使用。
【請求項２】　キレート化剤を環式オリゴ糖、シクロファンおよびカリックスアレーンからなる群から選択する請求項１に記載の使用。
【請求項３】　キレート化剤が環式オリゴ糖である請求項２に記載の使用。
【請求項４】　環式オリゴ糖がシクロデキストリンまたはその誘導体である請求項３に記載の使用。
【請求項５】　シクロデキストリンがγ－シクロデキストリンまたはその誘導体であ

る請求項４に記載の使用。

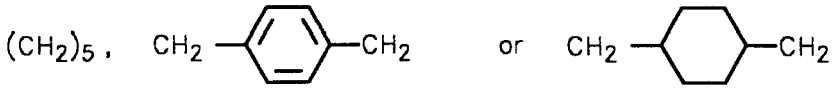
【請求項６】　シクロファンが一般式Ａ：

【化１】



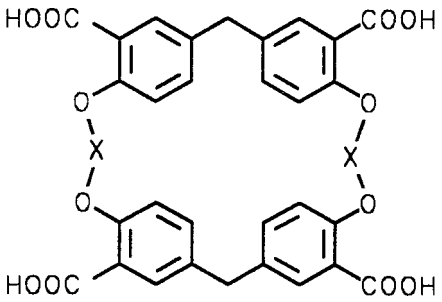
［式中、Ｒは

【化２】



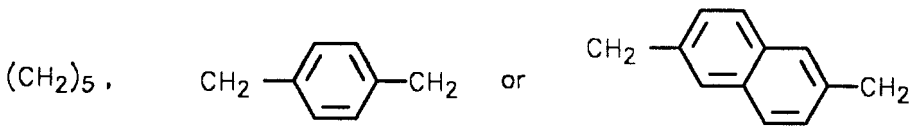
であり、ｎは１～５である］または一般式Ｂ：

【化３】



［式中、Ｘは

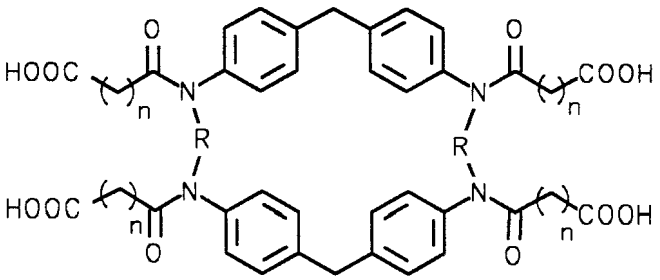
【化４】



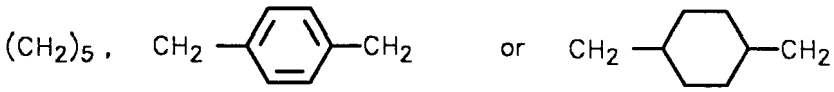
である］で示される請求項２に記載の使用。

【請求項７】　一般式Ａ：

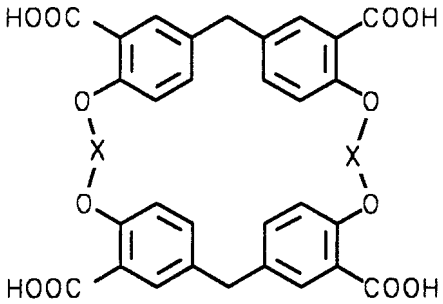
【化５】



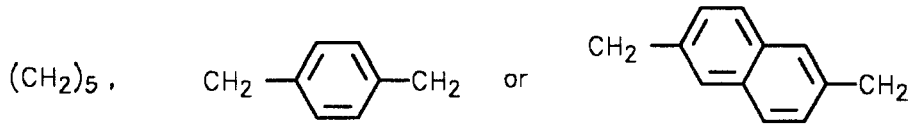
［式中、Ｒは
【化６】



であり、ｎは１～５である］または一般式Ｂ：
【化７】



［式中、Ｘは
【化８】



である］で示されるシクロファン誘導体またはその薬剤として許容される塩。

【請求項８】　（ａ）臨床的に用いられる神経筋遮断薬、ならびに（ｂ）神経筋遮断薬とゲスト－ホスト錯体を形成しうる化学的キレート化剤を含む神経筋遮断およびその回復をもたらすキット。

【請求項９】　神経筋遮断薬がロクロニウム、ベクロニウム、パンクロニウム、ラパクロニウム、ミバクリウム、（シス）アトラクリウム、ツボクラリンおよびスキサメトニウムからなる群から選択され、キレート化剤が環式オリゴ糖、シクロファンおよびカリックスアレーンからなる群から選択される請求項８に記載のキット。

【請求項１０】　神経筋遮断薬がロクロニウムであり、化学的キレート化剤がγ－シ

クロデキストリンまたはその誘導体である請求項９に記載のキット。

【請求項１１】　臨床的に用いられる神経筋遮断薬に起因する患者の神経筋遮断を回復させるための方法であって、前記神経筋遮断薬とゲスト－ホスト錯体を形成しうる化学的キレート化剤の有効量を前記患者に非経口投与することを含む方法。